

[ 横浜にぎわい座 ]  
 平成 28 年度業務報告及び収支決算  
 [ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。  
 ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

**【目指す姿、果たすべき役割】**

第三期指定管理の5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。第三期初年度である28年度は第二期の課題であった支出超過、特に4年間にわたり事業収支が赤字であったことへの改善に積極的に取り組みました。また、落語をはじめとする伝統文化や大衆芸能への地域社会や教育機関等の関心の高まりや期待に応える連携の取り組みも年間を通じて推進しました。大衆芸能の鑑賞機会提供の場としての役割に加え、大衆芸能をツールに社会と関わるが増え、専門文化施設としての役割を發揮できたことを実感する1年間となりました。

## (2) 28年度の業務の方針及び達成目標の総括

第三期提案で示した基本的な方針及び業務計画を実行に移すことで施設、事業を安定的に運営します。第二期の課題であった収支問題の改善については、これまでの課題を元に公演内容をリニューアルするとともに、営業力や企画力を強化するなどマンパワーを確保する必要性がありました。そのために業務分担の整理や効率的なチケット販売システムの導入、顧客情報の有効活用、大衆芸能の専門職員の配置と育成など将来に渡って安定した運営が可能な体制づくりに注力しました。

### ① 文化事業について

毎月1～15日の経常公演と、若手育成公演を中心とした小ホール公演を基本として年間259公演を開催しました。毎月1～7日に開催している寄席公演（年間84公演）のリニューアルや観客創造事業の実施により、新たな落語ファンの創造や販売促進に取り組みました。

企画公演（年間126公演）では、平日昼の「三遊亭円楽独演会」や偶数月日曜昼の「林家たい平独演会」で幅広い落語ファンの獲得を実現する一方、桂歌丸、柳家小三治、立川志の輔、柳家三三、柳家権太楼、柳家さん喬などの独演会を開催することによって、にぎわい座を支える落語ファンのニーズに応えることができました。さらにこれらの独演会は、後進の落語家や演芸人の目標になっており、多くの落語家や演芸人から「にぎわい座で独演会を行いたい」「にぎわい座の舞台に立ちたい」というお声をいただくほどのステータスの維持につながっております。

小学生のための「寄席体験プログラム」やアウトリーチ、横浜遠足での寄席体験など、子どもが大衆芸能を通じて日本の文化に触れる機会も数多く実施しました。

展示事業では「黄金町バザール2016」サテライト展示、「干支の絵展」などをアートNPOや市民団体との協働で実施しました。

市民サポーターに関しては市内の大学生による公演モニタリングを実施しましたが、本格的な動きは次年度以降になります。

### ② 施設運営について

公演のない時間帯の貸出しや撮影での利用は柔軟な対応を行い、実績を伸ばしました。貸館での新サービスの実施について28年度は検討に留まりました。利用率、利用料金ともに目標を達成することができませんでした。

人事に関しては、大衆芸能の専門家を常勤職員（チーフプロデューサー）として採用し、中長期的に企画制作および職員の育成に携わることができる体制となりました。

### ③ 施設管理について

経年劣化による故障などが施設の運営の根幹に関わりかねない不具合もありましたが、速やかに対応し、利用者・来館者に影響が出ないように努めました。市による小ホール音響卓更新に加え、利用者からの要望の多かったトイレの温水洗浄化や無料無線LAN設置（Wi-Fi）を独自に実施しました。

### ④ 収支について

事業収入は回復し、光熱水費を中心とした管理費の支出は節減できました。一方で利用料金が予算を下回り、またチケット販売システム導入の経費負担増により事業収支差額は目標に達しませんでした。安定的な施設運営、自主公演実施、アウトリーチなどの公益性の高い活動の充実のために、引き

続き収支バランスの見直しが必要です。

#### 4 業務の取組と達成状況

##### (1) 文化事業について

##### ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

###### [目指す成果]

- ・毎月1日から15日の経常公演をこれまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。寄席形式公演を「横浜にぎわい寄席」としてリニューアルし、発信性と親しみやすさを高め、落語や寄席に馴染みのない層にもアピールして、観客数を増やします。
- ・「垣根なく誰もが出られる演芸場」として、所属団体・流派に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。
- ・「将来の名人を育てる道場」として若手育成を継続的に実施します。
- ・学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育みます。市民に向けてはファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。

###### [成果についての振り返り]

- ・寄席形式公演「有名会」を「横浜にぎわい寄席」に名称変更し、入場料金改訂やこども料金等の設定を行いました。リニューアルや落語に初めて触れるには最適な公演であることを積極的にアピールし、旅行企画や区民優待デー等とのタイアップを進めた結果、チケット販売枚数が昨年度比42%増、収入も11%増となりました。その他の公演も、所属団体の垣根を越えた「東京四派若手精鋭そろい踏みの会」や「上方落語会」「寿ぎ唄い舞う“万歳”から笑いの芸“漫才”への移り変わり」など、にぎわい座らしい多彩な出演者や組み合わせで開催しました。若手育成公演は新シリーズも始動し、目標を上回る公演数、入場者数となりました。
- ・学校連携は従来の「教育プログラム」「寄席体験プログラム」に加え、教育委員会や学校からの相談や依頼に応えたアウトリーチ、横浜遠足での寄席体験等を実施し、子どもたちが大衆芸能に触れる機会を作りました。
- ・「横浜音祭り 2016」に多くの連携プログラム、パートナー事業で参加し、大衆芸能分野の音楽公演を広く発信しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><b>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</b></p> <p><b>経常公演事業</b></p> <p>① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催。</p> <p>② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容。</p>	<p><b>経常公演事業</b></p> <p><input type="checkbox"/>年間 200 公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者 月平均 3,170 人以上。</p>	<p><b>経常公演事業</b></p> <p><input type="checkbox"/>年間222公演開催。</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者 月平均3,750人</p>

<p>●「横浜にぎわい寄席」(毎月7回) 『有名会』をリニューアル。落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気気を気軽に楽しめる公演。学割や子ども料金を新設し、新しい観客を招きます。</p> <p>●「名作落語のタベ」(毎月1回) 古典落語を4人の真打がネタ出で口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演。</p> <p>●企画公演(毎月8回程度) 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催。</p> <p>●開館15周年記念事業(平成29年度)</p>	<p>■「横浜にぎわい寄席」へのリニューアル実施、料金体系の変更、リニューアルキャンペーンの実施。</p> <p>□「横浜にぎわい寄席」有料入場者平均90人以上。</p> <p>■横浜芸術アクション事業(音楽)開催年に合わせ、大衆芸能分野の音楽公演を開催。</p> <p>■開館15周年記念事業の企画制作、平成29年4月または5月</p>	<p>■4月から「横浜にぎわい寄席」に名称変更し、料金の値下げ、シニアや子ども料金などを新設し、チラシも一部改訂。リニューアルは新聞3紙に掲載。中区制90周年プレYear事業として11月に中区民優待デーを実施、街歩き企画や街コンなどにもこの公演を活用し、多くのタイアップを実施。</p> <p>□「横浜にぎわい寄席」(全84回)有料入場者数は8,779人、一公演平均は105人、前年度比42%増。</p> <p>・「名作落語のタベ」(全12回)の有料入場者数は1,260人、一公演あたりの平均は105人で、前年度比36%増。古典落語ネタ出し四席の基本スタイルを守りつつ、集客を向上させるための内容面について検討し、29年四月興行以降に反映。</p> <p>■横浜音まつり2016連携事業として「横浜にぎわい寄席」「高橋キヨ子 民謡のこころ」など7タイトルで参加。うち「日野美歌」「寿ぎ唄い舞う“万歳”から笑いの芸“漫才”への移り変わり」を実行委員会補助事業(共催)として開催。</p> <p>・企画公演は、三遊亭円楽、林家たい平、立川志の輔、柳家三三、柳家権太楼など人気の高い落語家による独演会、春風亭一朝・一之輔親子会、桂雀三郎・春風亭昇太による二人会などの企画、写真愛好会の芸人による演芸会「お笑いぱっちり倶楽部寄席」や日本演芸家連合の在京団体が顔をそろえる「演芸家連合まつり」など、他の会場では催されていない「にぎわい座らしさ」「にぎわい座ならでは」の公演を揃え、演芸ファンの期待に応えるラインナップで実施。</p> <p>■開場15周年記念事業として、4月から6月に開催することで準備実施。平成29年2月から前</p>
--	---	---

<p><b>◇創造的で発信性のある取り組みの実施</b></p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)…再掲</p> <p>ネタおろしや新作の発表やシリーズ公演の実施。にぎわい座ならではの公演を実現。</p> <p>●のげシャレー公演</p> <p>小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど。</p> <p>○近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造</p> <p><b>◇若手実演家育成の仕組みと実践</b></p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」</p> <p>小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演。</p>	<p>に実施。</p> <p>■演芸の歴史的な変遷を紹介する新しい企画公演を開催。</p> <p>■講談と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催。</p> <p>□年間 10 公演以上開催。</p> <p>□個性的なロケーションでの落語会の実施 1 回以上。</p> <p>□大衆芸能とジャズのコラボレーション公演 1 回以上。</p> <p>■YAF チャンネルと協働して、公演プロモーションやアーカイブ化を実施。</p> <p>□年間 20 回以上の開催。</p> <p>□入場者平均 100 人以上。</p> <p>□アウトリーチ事業への起用 5 回以上</p> <p>□経常公演での起用 5 回以上。</p>	<p>売り実施。来場者サービスを企画。</p> <p>■10/10「寿ぎ唄い舞う“万歳”から笑いの芸“漫才”への移り変わり」</p> <p>■2/14「爆笑演芸会」で浪曲入りコントに「嘘の母」を入れたオリジナル作品を上演。</p> <p>□「だるま食堂」「コラアゲんはいごうまん・春風亭一之輔 二人会」など全14公演を開催。うち1公演は横浜音祭り2016共催事業として「日野美歌 秋の宵・ジャズとヨコハマを歌う@のげシャレー」を開催。</p> <p>□黄金町バザール2016参加事業として「黄金町出前演芸会」を、初黄日ノ出町地区のかいだん広場で実施(10/30)。</p> <p>□「日野美歌 秋の宵・ジャズとヨコハマを歌う@のげシャレー」を開催(10/22)。</p> <p>■「ダメじゃん小出」(9/24)、「だるま食堂単独ライブ」(12/23、24)では独自にプロモーション映像を作成し、ホームページで公開。YAFチャンネルとの協働は今後も検討継続。</p> <p>□「登竜門シリーズ」年間21公演開催。春風亭びっかり☆など2シリーズがスタート。</p> <p>□入場者平均104人。</p> <p>□アウトリーチ(デイ銭湯寄席)に立川こはる(登竜門シリーズ出演中)を起用。その他のアウトリーチ6回に登竜門シリーズ以外の若手芸人6名起用(桂夏丸、雷門音助、柳家わさびほか)。</p> <p>□三遊亭萬橘、桂三木男を始め、6名を10公演に起用。</p>
---	---	--

<p><b>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</b></p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「大人のための寄席体験&amp;交流プログラム」 寄席の楽しさを知るトーク付きの落語会と演者を囲んでの交流会。</p> <p>●貸切公演 団体からの要請に基づいて貸切公演を開催し、新規顧客を開拓、リピート鑑賞につなげる。</p> <p><b>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</b></p> <p>●寄席文化体験 紙切りや寄席文字など寄席に因んだワークショップ。</p> <p>○ジャズ講座 横浜の街とジャズの楽しさを知る講座。横濱ジャズプロムナード実行員会との共催事業。</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大</p>	<p>□全公演でのアンケートの実施</p> <p>□市民サポーター等による公演モニタリングの実施4回以上。</p> <p>□2回以上開催、合計参加者160名以上、うち初来館者60%以上。</p> <p>□貸切公演6回以上開催、貸館主催者の満足度4以上。</p> <p>□2講座以上の開催、受講者50名以上。</p> <p>□ジャズ講座を機会にした初来館者20人以上。</p> <p>□講座の共催開催2回以上、会場提供3回以上、職員の講師派遣2人以上。</p>	<p>□全259公演でアンケート実施。2,872枚回収し、職員全員に回覧。</p> <p>□市内大学生による公演モニター2回実施。</p> <p>□「大人のための寄席体験『落語のトビラ』」10/29、3/18の2回開催。入場者数合計は117名、97%は落語初心者またはにぎわい座初来館者。野毛地区街づくり会、野毛飲食協同組合の協力を得て、野毛の名物料理を囲んで出演者と観客の交流の機会を演出。</p> <p>□市内法人会や県内私立中学校、大手企業OB会など6回の貸切公演を実施。主催者満足度は平均4.36。</p> <p>□8/16「寄席文字講座」2回実施。計36名受講。</p> <p>□横濱ジャズプロムナード実行委員会の都合で未開催。</p> <p>□にぎわい座寄席附講座（共催）として2回実施、職員講師2名派遣。 ・12/5「横浜にぎわい座を知る～野毛の街の演芸場」講師：事業担当リーダー</p>
---	---	---

<p>学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業。</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介。</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。28年度は「障がい者福祉」を重点テーマに、福祉施設やNPOと協働で実施。</p>	<p>□子ども向け1回以上開催、一般向け2回以上開催、団体向けオンデマンド開催5回以上開催。</p> <p>□障がい者施設での実施3回以上、若手育成事業の芸人起用5回以上、アウトリーチ先の新規開拓2施設以上。</p> <p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。</p>	<p>・12/19「寄席の楽しみ方」 講師：チーフプロデューサー 会場提供10/31、12/12、1/23、1/31の4回実施。横浜の暮らしと川や海シリーズ」など。</p> <p>□「夏のこども寄席」(8/7)でこども向けツアーを実施、36人参加。11/28老松中学校1年生向けにツアーを実施、138名参加。高等学校PTA、京急観光街歩き、街コン向けに計14回のツアーを実施。 誰でも参加可能な一般向けツアーは未実施。</p> <p>□ガッツ・びとと西で「にしよこ寄席」を2回開催。障がい者施設以外で「デイ銭湯」(本牧ゆあそび館ほか)3回、「汐見台出前寄席」(汐見台自治会館)、「黄金町出前演芸会」(初黄日ノ出町地区高架下)の計7回のアウトリーチを実施。新規開拓は黄金町のみ。</p> <p>■「にしよこ寄席」は社会福祉法人横浜共生会、「黄金町出前演芸会」はNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターとの協働事業。個人の新たなサポーター参画の仕組みは検討中。</p>
<p>◇子どもの創造性育成の取り組み</p> <p>○寄席体験プログラム(6回) 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業。</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業。</p>	<p>□参加児童1,800人以上。</p> <p>■事業の実施効果を高めるための教員向け講座の事前開催。</p> <p>□コーディネート3校以上。</p> <p>■事業の実施効果を高めるための教員向け講座の事前開催。</p>	<p>□6月と10月の計7日間に渡り実施。市立本町小、宮谷小など計18校の児童1,627人が参加。</p> <p>□3/2に市立港中の生徒155人が参加。 合計1,782人参加。</p> <p>■7/4にプログラム実施小学校1校の教職員31名を対象にした「横浜にぎわい寄席」仲入り後鑑賞と施設見学会を実施。</p> <p>□小机小、境木小、荏田南小、南本宿小の計4校で実施。6日間で726人が参加。</p> <p>■学校プログラム実施校の教職員を対象にした講座は未実施。</p> <p>・教育委員会「はまっこ未来カンパニープロジェクト」事業として、老松中学校(西区)、</p>

		<p>山内小学校（青葉区）でアウトリーチを含む事業を実施。</p> <p>① 老松中学校：講座と施設見学1回、チーフプロデューサーによる授業4回、にぎわい座での落語鑑賞と職業講話1回（桂歌助）。</p> <p>② 山内小学校：三遊亭わん丈による落語指導3回、副館長による広報・イベント安全管理の授業1回、地域向け発表会1回。</p>
--	--	--

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。</li> <li>・自主事業は、公演毎に訴求ターゲットを意識したデザインや使用ツールを選択し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。</li> <li>・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、地元団体や近隣施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。</li> </ul> <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜にぎわい寄席を始めとし、チラシのデザインや表記の改訂を行いました。ホームページやSNSでの公演情報提供も、内容の楽しさや見どころが伝わるように工夫しました。展示事業では新たに2つのNPO、市民団体との共催（黄金町バザール2016展、干支の絵展）や近隣小学校の児童作品展など市民協働のもとに開催し、現代美術ファンや児童保護者などこれまでにない集客も実現しました。</li> </ul>		
<p>[取組内容]</p> <p><b>情報収集および提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架。</li> <li>●公演記録の活用 過去の公演記録を活用し、大衆芸能のアーカイブと継承に活用。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■より分かりやすく手に取りやすい配架方法に変更。</li> <li>■自主公演チラシラックには「スタッフのお薦めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。</li> <li>□電子大福帳にすべての公演情報を入力。年間 220 件以上。</li> <li>■「名作落語のタベ」過去 162 公演分の上演演目をホームページ上で公開。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■チラシラックを更新し、より見やすく手に取りやすい形に変更。チケット完売等の施設からのお知らせ情報をエントランスの一角の専用スペースに集約し、分かりやすく掲示。</li> <li>■自主公演（一部公演）のチラシラックに手作りPOPを付け、掲載誌の展示コーナーも作成。</li> <li>□電子大福帳にすべての公演263件（貸切公演も含む）入力完了。</li> <li>■「名作落語のタベ」ホームページ上の公開は、他公演を含めた電子大福帳の公開として検討中で、29年度に持越し。</li> </ul>

<p>●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応。</p> <p><b>広報</b></p> <p>●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及びSNS等により公演情報を提供。</p> <p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にし</p>	<p>■自主事業で特にアーカイブ化が必要とされる公演を選定し、映像を公開。</p> <p>□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネーター業務 20 件以上。</p> <p>□新たに WEB 会員を募り、メールマガジンを年間 10 回以上配信。</p> <p>□Twitter を年間 400 回以上配信。</p> <p>■Twitter は公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識など多彩な内容で配信。</p> <p>■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。</p> <p>■「横浜にぎわい寄席」のリニューアルキャンペーンを利用して、にぎわい座全体の全市的な広報を実施。</p> <p>□1 回以上開催。</p>	<p>■映像公開は未実施。</p> <p>□地域イベントへの出演者紹介、教職員研修会の企画コーディネーター、ライブハウスでの落語会の広報協力など23件の相談対応やコーディネーターを実施。</p> <p>□5/20～3/31 にメールマガジンを 19 回配信。 チケット発売情報や直近公演の見どころなどを紹介。</p> <p>□Twitter は計 570 回配信。</p> <p>■チケット販売や施設からのお知らせに加えて、野毛や横浜のイベント情報を積極的に配信。公演のお知らせもユーモアを交えた柔らかい表現を採用。横浜を舞台にした人気アニメ「文豪ストレイドッグス」のスタンプラリーポイント（谷崎潤一郎）になった 5/15～6/5 には谷崎と横浜、そして落語にまつわる知られざるエピソードを 20 回に渡って tweet。</p> <p>■初めて落語に触れる人も多い「横浜にぎわい寄席」は演者名にルビを振り、分かりやすく改訂。「横浜三三づくし」毎回のチラシに横浜を象徴するスポットでの撮り下ろし写真でイメージを一新。若い女性客をターゲットにした「落語のトビラ」はバッグに入れやすいフォルムのフライヤーを採用するなど。元旦には近隣マンションへの年賀状で「横浜にぎわい寄席」を広報。</p> <p>■「横浜にぎわい寄席」リニューアルとして、歌丸館長からのメッセージ付のプレスリリースを実施。地元では中区制 90 周年プレ事業として、11 月に中区民優待デーを実施。</p> <p>□3/7 に記者懇談会を開催し、29 年度開場 15 周年記念事業について歌丸館長とチーフプ</p>
---	---	--

<p>た懇談会を開催し、活動を紹介。</p> <p><b>展示事業・館内演出</b></p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展、特別展を開催。</p> <p>●館内装飾 エントランスほかに季節の装飾等を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティ向上。</p>	<p>□企画展として「中島修展」のほか、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>□市民団体や近隣施設と連携した特別展を2回以上実施。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間6回以上展示替え。</p> <p>□市内のアーティストと連携した館内装飾を1回以上実施。</p>	<p>ロデューサーから説明。9社11名が参加。</p> <p>・ホームページを更新(5月、3月)。「ホームページからのチケット購入方法」「よくある質問」「業務計画、業務報告」「無線LAN利用案内」を新たに掲載。バリアフリーや休館日案内を見やすく改訂。</p> <p>□企画展として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「寄席文字講座関連展示」(7/1～9/15)</li> <li>・「中嶋修展」(8/1～9/15)</li> <li>・「お笑いぱっちり倶楽部写真/個展」(2/3～28)</li> <li>・「お笑いぱっちり倶楽部/本展示」(3/2～3/31) 計4回開催。</li> </ul> <p>□協力展(特別展)として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「野毛大道芸ポスター展」(4/4～5/15)</li> <li>・「本町小学校児童作品展」(12/1～20) 共催展示として</li> <li>・「黄金町バザール2016展」(10/1～11/6)</li> <li>・「干支の絵展」(1/1～2/1) 計4回開催。</li> </ul> <p>■エントランスから2階にかけての展示案内を設置し、展示会場に誘導。展示パネルと展示ケースの組合せにより立体的な展示を実施。</p> <p>□季節の館内装飾は毎月展示替えを行い、計13回実施。特に正月は全館を華やかに装飾。</p> <p>□玄関自動ドアにユーモアのある展示を、1階の階段室の扉壁面には写真撮影スポットになるポップな作品を設置。ともに黄金町ほかで活躍する竹本真紀さんの作品。</p>
---	--	--

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果]</p> <p>地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創り</p>
---

に貢献します。

[成果についての振り返り]

- ・野毛地区の飲食店と連携した新規事業「落語のトビラ」を開催し、落語の楽しさと野毛の魅力を紹介しました。野毛地区街づくり会とは共催事業や野毛地区のイベントへの協力で連携しています。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"><li>●野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動。</li><li>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛通手形」(飲み歩きクーポン)に参加。</li><li>■にぎわい座公演チケット提示で飲食店でサービス提供が受けられるタイアップ実施。</li><li>■大規模合コン「街コン」に参加し、若い新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■窓口での販売と、野毛手形と「横浜にぎわい寄席」ペアチケットのセット販売を実施(販売実績8セット)</li><li>■チケットタイアップは今年度未実施。</li><li>■街コンは「横浜にぎわい寄席」仲入後鑑賞とバックステージツアー、野毛でのパーティーのプログラム。7/4(17人)、9/3(31人)、12/4(24人)、2/5(28人)計4回開催。主催：株式会社リンクバル</li><li>・大人のための寄席体験『落語のトビラ』を10/29、3/18の計2回開催。野毛地区街づくり会、野毛飲食協同組合の協力を得て、野毛の名物料理を囲んで出演者と観客が交流。</li><li>□「ちぐさ JAZZ コンサート」「野毛地区敬老演芸大会」「横浜バスマップサミット」など6公演を共催。</li><li>■「野毛大道芸ポスター展」(4/4～5/15)を協力展として開催。小ホールをリハール会場として提供、ポスターやパンフレット配架を積極的に実施。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>○野毛地区主催のイベントへの協力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>□野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施5公演以上。</li><li>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>□かもめスクール2回開催。それぞれ講座と落語鑑賞の組み合わせ(6月17人、11月7人参加)。講師はチーフプロデューサーと管理運営チームリーダー。</li><li>MMcc イベントとしてビールとライブのイベントを小ホールで開催し、運営に協力(120人参加)。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●MM21 地区からの誘客</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■MM21 地区の就業者の交流団体(MMcc、かもめスクールなど)向けにイベント実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施3回以上。</li></ul>	

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、多くの市民の方に支えていただく仕組みとして新たに市民サポーター制度を作り、大衆芸能の楽しさとそれを支えるにぎわい座の役割を広めていただきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>・市民サポーター制度は今年度の新規取組みの柱の一つでしたが、準備や関係者づくりを中心に行い、具体的な成果は来年度以降に持越しとなりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター始動</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。</p> <p>■チケット販売促進プロジェクト開始。</p> <p>□アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動等での活動実績5件以上。</p> <p>■学校や学生からの要望があれば積極的に受け入れを実施</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□にぎわいスタッフとの個人面談時および年2回の業務研修時の計3回アンケートを実施。</p> <p>■にぎわいスタッフの動員力を活用するために団体販売実現に対して報償を支払う制度を整備。29年度から稼働予定。</p> <p>□横浜商科大学の学生3名が主催公演をモニター鑑賞、にぎわい座の弱点である若い世代を集客するための方策（広報、イベント案）の提案受領。</p> <p>■学校などの要望に応え、教育機関、児童生徒と大衆芸能をつなぐ試みを実施。</p> <p>・職業体験として、中川西中（5月）、六ッ川中（11月）、平楽中（3月）の生徒を受け入れ、演芸場の仕事体験する機会提供。</p> <p>・7/15 藤沢市の保育園の横浜遠足で施設案内を実施。</p> <p>・10/21 小田原市の私立中学校の横浜遠足で貸切演芸会を開催。</p> <p>・3/3 横浜市幼稚園協会港北支部の教職員研修会を誘致。落語家による職業講話、口演を実施。</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルを十分に発揮し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事</p>
---

業の国内外への発信に取り組みます。

[成果の振り返り]

- ・「横浜音祭り 2016」に多くの連携プログラム、パートナー事業で参加し、大衆芸能分野の音楽公演を広く発信しました。
- ・TPAM（国際舞台芸術ミーティング）2017 参加公演への協力に加え、新たに「横浜ダンスコレクション 2017」のサテライト公演を共催し、コンテンポラリーパフォーミングアーツ分野での小ホールの更なる活用につなげました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜芸術アクション事業（音楽）への参加 …再掲</li> <li>●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連公演</li> <li>○「横濱ジャズプロムナード2016」運営協力</li> <li>○「TPAM—国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2017」協力</li> <li>○「横浜ダンスコレクション EX 2017」共催</li> <li>●アフターコンベンションでの来館促進</li> </ul>	<p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜芸術アクション事業（音楽）開催年に合わせ、経常公演で音楽公演を開催。</li> <li>■外国人による公演モニターを実施し、企画立案に向けた情報を収集。</li> <li>■横濱ジャズプロムナードの会場運営チーフに職員を派遣。</li> <li>■TPAM 参加カンパニーに対して小ホールを優先的提供し、公演運営に協力。</li> <li>■小ホールを優先提供し、公演運営に協力。</li> <li>■会議関係者に対するニーズ調査の実施。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜音祭り2016には連携事業2公演に加え、パートナー事業として「横浜にぎわい寄席」(5～11月全公演)、ボカスカ寄席(7/14)、国本武春追悼公演「TAKEHARU FOREVER」(8/8)ほかでエントリーし、大衆芸能分野の音楽公演を積極的に展開。</li> <li>■「お笑いぱっちり倶楽部2015年度・桂歌丸賞受賞・浜田太一の個展」(2/3～2/28)、「お笑いぱっちり倶楽部会員写真展」(3/2～3/31)で、フォト・ヨコハマ2017パートナーイベントに参加。</li> <li>■在日大使館および在日文化センターに依頼中。モニター実施は29年度から。</li> <li>■横濱ジャズプロムナードの会場運営チーフとして、職員を2日間に渡り派遣。</li> <li>■富士山アネット（代表：長谷川寧）による「エニアックENIAC」(2/11～14)を4日間8公演を共催。入場者数271人。</li> <li>■赤レンガ倉庫1号館主催の「アイサ・ホクソン『HOST』」(2/17～19)を3日間3公演を共催。入場者数203人。</li> <li>■29年実施予定。</li> </ul>

<p>●修学旅行や横浜観光での企画商品化</p> <p>●地域文化施設との連携…一部再掲</p>	<p>□旅行企画商品化3件以上。</p> <p>□個性的なロケーションでの落語会の実施など 近隣施設、市内文化施設と協働事業の2事業以上。</p>	<p>□旅行会社や学校からの相談を元に、旅行・遠足企画を実施。京急観光街歩き(6/3)、藤沢市の保育園の横浜遠足(7/15)、小田原市内の私立中学校の横浜遠足(10/21)で貸切演芸会実施、弁当付鑑賞プラン(2/12)計4件。</p> <p>□10/1～11/6「黄金町バザール2016サテライト展示」、10/30「黄金町出前演芸会」の2事業をNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターと共催。 横浜ダンスコレクション2017「アイサ・ホクソン『HOST』」(2/17～19)を横浜赤レンガ倉庫1号館と共催。計3事業。</p>
--	---	---

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																																																																								
<p>① 基本的な施設の提供</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p>	<p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="389 1070 828 1267"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について(平日、入場料無料時)</p> <table border="1" data-bbox="389 1361 898 1462"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="389 1509 954 1756"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table> <p>■小ホールと制作室のセット割引を設定。 ■附帯設備セット内容を変更。</p> <p>■管理担当職員1人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とともに公演打合や利用相談を担当。</p>	開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)	開館時間	10時～22時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100	<p>■開館日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="968 1070 1407 1267"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について(平日、入場料無料時)</p> <table border="1" data-bbox="968 1361 1477 1462"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="968 1509 1535 1756"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table> <p>■セット割引の実施は来年度に延期。 ■附帯設備セット料金化の実施は来年度に延期。</p> <p>■ホールは管理担当職員1名が専任で対応</p>	開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)	開館時間	10時～22時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)																																																																									
開館時間	10時～22時																																																																									
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																																																							
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																																																							
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																																																					
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																																																					
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																																																					
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																																																					
開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)																																																																									
開館時間	10時～22時																																																																									
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																																																							
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																																																							
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																																																					
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																																																					
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																																																					
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																																																					

<p>④ 要望・苦情への対応</p>	<p>■見学対応は全員で実施。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール3人、小ホール1人を基本とし、小ホールは利用状況に応じて2人体制として安全管理に注力。</p> <p>■舞台技術統括責任者は経験10年以上、残り4人も経験5年以上。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情はすべて副館長まで報告</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>	<p>■全員が対応することで急な施設見学には対応。</p> <p>■達成指標の人員にプラスして、初利用の場合は舞台スタッフが1名専任で対応。</p> <p>■統括責任者は経験25年以上。他も条件を充足。</p> <p>■5月のチケットの販売方法の変更以降、この件に関する質問や意見、苦情あり。財団事務局等に報告が必要な件はなし。アンケートで要望の多かったトイレの温水洗浄化については3月に改修工事を実施。</p>
--------------------	--	--

イ 利用促進及びサービスの向上、アイディア・ノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 利用率の向上	<input type="checkbox"/> 目標利用率 芸能ホール：78% 小ホール：67% ＊利用可能日に対する稼働率 練習室：66% 制作室：40% ＊利用可能時間帯に対する稼働率	<input type="checkbox"/> 利用実績 芸能ホール：76% 小ホール：60% ＊利用可能日に対する稼働率 練習室：58% 制作室：35% ＊利用可能時間帯に対する稼働率
② 利用の促進	<p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内。</p> <input type="checkbox"/> 利用希望者施設見学受け入れ12件以上。 <input type="checkbox"/> 平日夜間の利用促進のための夜間見学会の開催2回以上 <input type="checkbox"/> 練習室利用促進のため大学のダンスサークル10団体以上に宣伝活動実施。 <input type="checkbox"/> 練習室、制作室の紹介ツール作成2種以上。	<p>■貸出抽選後の土日祝日のホール空き情報をホームページで案内。</p> <input type="checkbox"/> 芸能ホール4件、小ホール19件、計23件の施設利用希望者の施設見学を受入。 <input type="checkbox"/> 夜間見学会は未実施。 <input type="checkbox"/> 大学のダンスサークルへの宣伝活動は未実施。 <input type="checkbox"/> 館内に練習室、制作室の紹介ポスターを掲示。毎月の貸館情報チラシに抽選会と各室場の紹介を盛り込み告知。
③ グッズの販売	<input type="checkbox"/> オリジナルグッズ新商品発売開始1種類以上。	<input type="checkbox"/> オリジナルグッズ(チケットホルダー)、新取り扱い商品(桂歌丸手ぬぐい)の販売を開始。
④ 1階エントランスの活用	<input type="checkbox"/> 地域イベントのインフォメーション実施2回以上。	<input type="checkbox"/> 野毛大道芸(4月)と黄金町バザール(10～11月)開催時期はチラシやマップを集中的に配架。11月「横浜にぎわい寄席」中区民優待デー期間中は専用チケット販売所として活用。
⑤ 3階売店との連携	<input type="checkbox"/> のげ茶屋とのタイアップ2回以上。	<input type="checkbox"/> 大晦日「クライマックス寄席」「カウントダウン寄席」で出演者と観客の乾杯用ドリンク提

<p>⑥ 新たな貸出プランの開始</p> <p>⑦ 新たな利用者サービスの開始</p>	<p><input type="checkbox"/>撮影での貸出 年2回以上。</p> <p><input type="checkbox"/>經常公演期間中の空き時間の貸出 年4件以上。</p> <p><input type="checkbox"/>表方スタッフの配置サービス提供 2件以上。</p>	<p>供の協力。東急ベル情報誌「家ナカ」読者向けお弁当向け観劇プラン用のオリジナル弁当の提供の2件を実施。団体客用のお弁当のオリジナル掛け紙の製作について協議を継続中。</p> <p><input type="checkbox"/>NHKスペシャル（歌丸館長出演）、日本テレビドラマ、CM、プロモーションビデオの撮影に計4回貸出。</p> <p><input type="checkbox"/>学校寄席、貸切公演、CM撮影など經常公演期間中の空き時間を5件貸出。</p> <p><input type="checkbox"/>表方スタッフ配置サービスは要望なし。</p>
---	---	---

## ウ 組織的な施設運営

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																																																												
<p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="512 976 954 1469"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>3人2ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	3人2ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="1046 976 1489 1469"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>1人</td> <td>事業</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5人</td> <td>管理3、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>2人1.5ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人(1ポスト)</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>26人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	1人	事業	職員	5人	管理3、事業2	アルバイト	2人	2人1.5ポスト	公演表方チーフ	1人	2人(1ポスト)	にぎわいスタッフ	26人	
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																																																												
職員	4人	管理2、事業2																																																												
アルバイト	2人	3人2ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																																																												
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																																																												
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	1人	事業																																																												
職員	5人	管理3、事業2																																																												
アルバイト	2人	2人1.5ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	2人(1ポスト)																																																												
にぎわいスタッフ	26人																																																													
<p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p>	<p>■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <p>・事務室</p> <p>A 勤務（9:30～18:15）最少2人</p> <p>B 勤務（13:15～22:00）最少2人</p> <p>・受付窓口</p> <p>A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による</p> <p>B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による</p> <p>C 勤務（17:45～22:00）人数は状況による</p>	<p>■勤務体制は2シフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <p>《基本的なパターン》</p> <p>・事務室</p> <p>A 勤務（9:30～18:15）最少2人</p> <p>B 勤務（13:15～22:00）最少2人</p> <p>・受付窓口</p> <p>A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による</p> <p>B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による</p> <p>C 勤務（17:45～22:00）人数は上京による</p> <p>・舞台技術スタッフ（委託）：利用状況による</p>																																																												

<p>③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成</p>	<p>■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。 チーフプロデューサー、アシスタントプロデューサー（事業担当職員）各1人を配置し、中期的に育成。</p>	<p>■大衆芸能の専門家であるチーフプロデューサー1名を常勤職員として採用。アシスタントプロデューサー（事業担当）を1人を配置し、中期的育成に着手。</p>
<p>④ その他の人材育成、チームワーク醸成</p>	<p>■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を發揮。</p> <p>■研修参加や資格取得を奨励。</p> <p>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</p>	<p>■教育委員会との連携事業「はまっこ未来カンパニープロジェクト」では、事業目的を達成するためのプログラムを複数提案。結果だけでなくプロセスを重視した提案に注力。</p> <p>■職員が市主催の人権啓発研修を受講（9月）。</p> <p>■防災については全職員からの意見を集約。</p> <p>■事業、業務の担当の枠を越えてプロジェクトチームを作り、課題解決に対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内美化</li> <li>・ポイントカードリニューアル案検討</li> <li>・にぎわいスタッフ等によるチケット販売促進</li> </ul>

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 個人情報保護・情報公開</p>	<p>① ■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。</p> <p>■入場券販売に票券管理システムを導入し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</p>	<p>■個人情報取扱いに関する個別の研修を実施。個人情報に関する事故は発生せず。</p> <p>■ファックスと郵送のダブルチェックは遺漏なく実施。</p> <p>■5月に票券管理システムを導入し、顧客情報（購入者）はセキュリティの高い外部サーバーでの管理に変更。発売中の全チケットを出力して保管する従来のやり方を、システム導入後は販売のタイミングでの出力に変更。金券同様のチケットの保管の安全性を向上。</p> <p>■過去5年間の業務計画、業務報告をホームページで公開（3月）。</p>
<p>② 人権尊重</p>	<p>② ■人権研修への参加、職場内での研修実施。</p>	<p>■職員が市主催の人権啓発研修を受講（9月）。障害者差別禁止法施行に合わせて職員、にぎわいスタッフの研修を実施（4月）。</p>

<p>③ 環境への配慮</p>	<p>□にぎわいスタッフ向け接客研修実 (年2回以上)</p> <p>■施設の利用状況を細目に確認しながら の空調・照明のオンオフ操作による光 熱水費の削減。</p> <p>■新たにゴミ処理有料化を開始し、ゴミ の軽減と持ち帰りを促進。</p>	<p>□にぎわいスタッフ、職員向けの接客研修を別 メニューで5回実施。</p> <p>■必要時以外の消灯やその日の天候に合わせた 空調の細かい設定により光熱水費を削減。 3、4階ホワイエの窓ガラスへの遮熱フィルム の設置について検討。実施については来年度 以降も検討を継続。</p> <p>■貸館利用者のゴミ処理有料化実施については 来年度に持ち越し。</p>
<p>④ 市内中小企業優 先発注</p>	<p>市内中小企業者への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 90%以上</p> <p>□修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p>□印刷物 80%以上</p>	<p>市内中小企業への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 91%</p> <p>□修繕・備品買替 91%</p> <p>□印刷物発注率 95%</p>

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 施設及び設備の 維持保全及び管 理</p>	<p>■建築設備、舞台設備の施設保守管理業 務項目一覧に明記された保全管理及び 点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目 視点検を毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼ ロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性 評価4以上。</p>	<p>■保全管理、点検は遺漏なく実施。</p> <p>■委託業者による設備系、消防系の目視点検は 毎日実施。27年度末から部分的に不具合が発 生していた加圧給水ポンプは横浜市による改 修工事を6月に実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止は発生せ ず。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価 4.45。</p>
<p>② 小破修繕の着実 な実行</p>	<p>■優先順位を的確に判断しての修繕、更 新の実施。</p>	<p>■小ホールの音響卓、練習室の音響ワゴンは2月 に横浜市による更新を実施。</p> <p>■19件3,200千円の修繕を実施。故障対応（高所 作業台、自動ドア、舞台備品）のほか、施設 の美観向上（案内板、チラシラック、提灯、 幟の更新）も実施。</p> <p>[その他の改修]</p> <p>・地下2階の携帯電話の電波が届かない状態を解</p>

		消するためのアンテナ設置に向けて、電話会社との調整を行い、29年度稼働予定。 ・館内で無料Wi-Fiが使用できるように3月に工事を実施。29年度稼働予定。 ・アンケートで要望の多かったトイレの温水洗浄浄化について3月に財団による改修を実施。
--	--	--

#### イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応	<input type="checkbox"/> 施設管理者有責による人身事故ゼロ。  <input type="checkbox"/> サービス介助士資格取得者在籍2人以上。 <b>■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期に発見し、適切に対応。</b>  <b>■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開錠及び管理を実施。</b>	<input type="checkbox"/> 施設管理者有責の人身事故は発生せず。本人事由による怪我、事故についても報告なし。 <input type="checkbox"/> サービス介助士資格取得者は1名在籍。  <b>■巡回や監視カメラによるモニタリングを適切に実施。避難訓練対応も含めて日頃から窓口スタッフに館内巡回や防災設備の観察を呼びかけ。</b>  <b>■朝礼でその日のスケジュールに合わせた楽屋管理口へのスタッフ配置を確認して、適宜実施。</b>
② 感染症対策等	<b>■職員及び委託業者による巡回で異常を早期に発見。</b> <b>■汚物処理は感染症を念頭におき、効果的に実施。</b>	<b>■来館者が体調不良により嘔吐した場合は、清掃スタッフが適切な消毒薬を使用した清掃を実施。</b> <b>■窓口スタッフのマスク着用を奨励。来館者からは特に反応もなく、スタッフと来館者の健康管理に注力。</b>
③ 緊急時の体制、連絡体制	<b>■ローテーション勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。</b> <b>■自主事業や観客の多い貸館公演の日は、出勤職員を増やして対応。</b>	<b>■その日の勤務者のうち上席者を責任者と明確化。</b> <b>■勤務表作成時にその日の催事に必要な人数を決めて、出勤者数を決定。</b>

#### ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 危機管理マニュアルの整備	<b>■現行マニュアルの検証と改訂</b>	<b>■防災訓練に合わせてマニュアルを2回改訂。</b>
② 避難訓練	<input type="checkbox"/> 異なる設定で全員職員参加の避難訓練実施 年2回以上。うち1回は町内会や	<input type="checkbox"/> 第1回（9/20）「小ホール地震・津波編」「小ホール火災編」、第2回（2/22）「小ホール地

<p>③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ</p>	<p>マンション住民も交えて実施。</p> <p>■非常時には一時滞在施設・避難受入施設と同等の対応を実施。</p>	<p>震・津波編」実施。住民参加は未実施。</p> <p>■備蓄品の更新実施。</p>
--------------------------	--	---

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 利用料金収入の確保</p>	<p>■利用率および収入目標の達成 芸能ホール 78%、小ホール 67%、練習室 66%、制作室 40% 収入計 20,500,000 円</p>	<p>□利用率および収入実績 芸能ホール 76%、小ホール 60% 練習室 58%、制作室 35% 収入計 17,826,800 円</p>
<p>② 貸館における新たな料金設定</p>	<p>■ゴミ処理有料化等の新規料金設定の運用開始</p>	<p>■ゴミ処理有料化、表方スタッフの有料配置については未実施。来年度に先送り。</p>
<p>③ チケット受託販売</p>	<p>■チケット受託販売手数料の改訂 □受託実績 24 公演以上</p>	<p>■チケット受託販売手数料の改訂は未実施。 □受託実績28公演</p>
<p>④ 自主事業収入の増収</p>	<p>■WEB 申込みなどチケット販売方法の変更</p> <p>□入場料収入 131,000,000 円達成 ■団体誘致用広報チラシ作成 □団体販売実績 月平均 8 団体以上</p>	<p>■5月末に票券管理システムを導入。同時に会員制度を開始。インターネットで24時間予約が可能となり、購入者の利便性が大幅に向上。販売状況確認やお客様からの問合せにスムーズに対応できるように。</p> <p>□入場料収入 133,856,830円を達成。 ■団体誘致用広報チラシ1種16,000枚作成。 □団体販売実績 月10.5団体。</p>
<p>⑤ 協賛金の獲得</p>	<p>□協賛（現物協賛を含む）3 件以上</p>	<p>□チケットホルダーへの広告協賛1件。 横浜音祭り2016助成金2件。</p>
<p>⑥ オリジナル商品開発および販売</p>	<p>□商品売上 20 万円以上。 □オリジナルグッズ新商品 1 種類以上。</p>	<p>□商品売上32万円を達成。オリジナルグッズとしてチケットホルダーの販売開始。</p>
<p>⑦ テレビ番組収録の誘致</p>	<p>□経常公演のテレビ収録 年間 6 回以上</p>	<p>□「名作落語の夕べ」4回ほか年間20回収録。</p>
<p>⑧ 経費削減</p>	<p>■入札、見積もり合わせの徹底 ■計画的なチラシ発送による郵送料の削減</p>	<p>■同月内の同一人への支払いは可能な限りまとめて実施し振込手数料を削減。</p>

<p>⑨ コスト意識</p>	<p>減</p> <p>■シフト調整、公演表方チーフ制スタートによる業務分担の見直し等による超過勤務削減</p>	<p>■発送を月2回に決め、効率的にチラシを配布。</p> <p>■昨年度定年退職した職員を公演表方チーフとして再雇用、これまで職員のみが担当していた業務の新たな担い手に。年間114公演の表方チーフを委ね、職員の負担を軽減。</p>
----------------	--	--

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

## 平成28年度 「横浜市芸能センター(横浜にぎわい座)」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	209,704,000		209,704,000	209,704,000	0	横浜市より
利用料金収入	20,500,000		20,500,000	17,826,800	2,673,200	利用率、利用料金ともに目標未達
自主事業収入	134,074,000	0	134,074,000	138,844,640	△ 4,770,640	公演チケット収入、講座料収入。にぎわい寄席にリニューアルし、増収。
雑入	1,270,000	0	1,270,000	3,450,553	△ 2,180,553	
印刷代	20,000		20,000	23,927	△ 3,927	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	500,000		500,000	117,514	382,486	3階売店及び自動販売機売上手数料
本部繰越金収入	0		0	2,069,712	△ 2,069,712	機能向上のための資金投入(客席側トイレに洗浄便座設置、Wi-Fi導入)
その他(協賛金、事業負担金等)	750,000		750,000	1,239,400	△ 489,400	「横浜アーツフェスティバル」「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、ほか
<b>収入合計</b>	<b>365,548,000</b>	<b>0</b>	<b>365,548,000</b>	<b>369,825,993</b>	<b>△ 4,277,993</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>97,520,000</b>	<b>0</b>	<b>97,520,000</b>	<b>91,092,946</b>	<b>6,427,054</b>	
給与・賃金	80,319,000		80,319,000	75,550,128	4,768,872	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ
社会保険料	8,334,000		8,334,000	7,963,803	370,197	
通勤手当	4,700,000		4,700,000	4,576,879	123,121	
健康診断費	102,000		102,000	141,405	△ 39,405	健康診断料、ストレスチェック料、福利厚生費、労災保険料上乘
退職給付引当金繰入額	4,065,000		4,065,000	2,860,731	1,204,269	
<b>事務費</b>	<b>4,261,000</b>	<b>0</b>	<b>4,261,000</b>	<b>6,713,713</b>	<b>△ 2,452,713</b>	
旅費	180,000		180,000	114,429	65,571	事務連絡、外部打合せ等にかかる交通費
消耗品費	1,001,000		1,001,000	533,392	467,608	施設運営にかかる文具、用紙、消耗品等。※修繕パーツ・更新物品は修繕費計
会議滞在費	40,000		40,000	0	40,000	
印刷製本費	150,000		150,000	249,496	△ 99,496	封筒等の増刷
通信費	800,000		800,000	789,943	10,057	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	71,899	78,101	
横浜市への支払分	150,000		150,000	40,072	109,928	目的外使用料(3階売店及び自動販売機)
その他	0		0	31,827	△ 31,827	NHK受信料、CATV契約、PCソフトライセンス料
備品購入費	500,000		500,000	2,694,600	△ 2,194,600	設備・備品更新、機能向上(票券システム導入、洗浄便座取付ほか)※修繕実績の
図書購入費	20,000		20,000	32,961	△ 12,961	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	70,000		70,000	59,230	10,770	
職員等研修費	50,000		50,000	15,000	35,000	食品衛生責任者講習、事業視察
振込手数料	150,000		150,000	68,720	81,280	
リース料	1,000,000		1,000,000	966,466	33,534	PC、コピー機、印刷機、AED、玄関マットレンタル
手数料	100,000		100,000	142,944	△ 42,944	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	0		0	592,357	△ 592,357	施設広告掲載、ホームページ改修、施設装飾
雑支出(渉外費)	0		0	284,600	△ 284,600	真打昇進、落慶式典、供花等
地域協力費	50,000		50,000	97,676	△ 47,676	町内会費、神奈川観光協会年会費 ほか
<b>事業費</b>	<b>119,617,000</b>	<b>0</b>	<b>119,617,000</b>	<b>130,230,636</b>	<b>△ 10,613,636</b>	
自主事業費	119,617,000	0	119,617,000	130,230,636	△ 10,613,636	票券システム導入による、管理料、チケット販売手数料等の増
<b>管理費</b>	<b>114,280,000</b>	<b>0</b>	<b>114,280,000</b>	<b>107,903,427</b>	<b>6,376,573</b>	
光熱水費	18,700,000	0	18,700,000	15,353,602	3,346,398	
電気料金	13,500,000		13,500,000	10,892,794	2,607,206	
ガス料金	3,500,000		3,500,000	2,738,722	761,278	
水道料金	1,700,000		1,700,000	1,722,086	△ 22,086	
清掃費	12,000,000		12,000,000	10,653,120	1,346,880	
修繕費	1,580,000		1,580,000	1,234,961	345,039	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新分は事務費-備品購入費に
舞台技術員	24,000,000		24,000,000	22,861,440	1,138,560	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	40,000,000	0	40,000,000	39,818,304	181,696	
専有部管理費	40,000,000		40,000,000	39,818,304	181,696	専有部施設設備管理費、警備費
共益費	18,000,000		18,000,000	17,982,000	18,000	ビル共用部管理費、害虫駆除費
<b>公租公課</b>	<b>6,600,000</b>	<b>0</b>	<b>6,600,000</b>	<b>8,980,188</b>	<b>△ 2,380,188</b>	
消費税	6,500,000		6,500,000	8,771,400	△ 2,271,400	
印紙税	100,000		100,000	183,000	△ 83,000	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	0		0	25,788	△ 25,788	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー電波利用料
<b>事務経費</b> (計算根拠を説明欄に記載)	<b>23,270,000</b>	<b>0</b>	<b>23,270,000</b>	<b>23,270,000</b>	<b>0</b>	
本部分	23,270,000		23,270,000	23,270,000	0	
<b>支出合計</b>	<b>365,548,000</b>	<b>0</b>	<b>365,548,000</b>	<b>368,190,910</b>	<b>△ 2,642,910</b>	
差引	0	0	0	1,635,083	△ 1,635,083	